



防災学術連携体：平成28年熊本地震・三ヶ月報告

# 日本看護系学会協議会 (JANA) における取組

山本あい子：日本看護系学会協議会災害担当理事  
(兵庫県立大学教授)

## 日本看護系学会協議会 (JANA) とは

- ▶ 2001年設立
- ▶ 目的：看護学の学術的発展をめざす看護系学会の相互交流と連携をはかり、看護学研究の成果を社会に還元する学会活動を支援し、看護学学術団体の立場から、人々の健康と生活の質の向上のため国や社会に向かって必要な提言を行うこと
- ▶ 主な活動
  - ✓ 1年1回の総会開催
  - ✓ 公開シンポジウムの開催
  - ✓ ニュースレターの発行
  - ✓ 日本学術会議との連携

# JANA会員学会（44学会）

- ・（公社）日本看護科学学会
- ・（一社）聖路加看護学会
- ・（一社）日本がん看護学会
- ・（一社）日本看護学教育学会
- ・（一社）日本看護管理学会
- ・（一社）日本看護研究学会
- ・（一社）日本救急看護学会
- ・（一社）日本クリティカルケア看護学会
- ・（一社）日本公衆衛生看護学会
- ・（一社）日本小児看護学会
- ・（一社）日本助産学会
- ・（一社）日本精神保健看護学会
- ・（一社）日本創傷・オストミー・失禁管理学会
- ・（一社）日本地域看護学会
- ・（一社）日本糖尿病教育・看護学会
- ・（一社）日本母性看護学会
- ・（一社）日本循環器看護学会
- ・高知女子大学看護学会
- ・千葉看護学会
- ・日本アディクション看護学会
- ・日本運動器看護学会
- ・日本家族看護学会
- ・日本看護医療学会
- ・日本看護技術学会
- ・日本看護教育学学会
- ・日本看護診断学会
- ・日本看護福祉学会
- ・日本看護倫理学会
- ・日本看護歴史学会
- ・日本災害看護学会
- ・日本在宅ケア学会
- ・日本手術看護学会
- ・日本新生児看護学会
- ・（一社）日本腎不全看護学会
- ・日本生殖看護学会
- ・日本赤十字看護学会
- ・日本難病看護学会
- ・日本放射線看護学会
- ・日本母子看護学会
- ・日本慢性看護学会
- ・日本ルーラルナースング学会
- ・（一社）日本老年看護学会
- ・北日本看護学会
- ・日本ニューロサイエンス看護学会

## 災害発生に関連したJANAの活動

1. 東日本大震災時は、他組織との情報共有を実施
2. 国連防災世界会議時にパブリックフォーラム開催

「東日本大震災からの復興と生活再建のための看護系学会の活動」

3. 日本学術会議と災害関連シンポジウムを共催
4. 日本看護科学学会と連携した「災害看護支援事業」
5. 各学会から出された資料等の集約と共有
6. 海外の甚大な被害に対する募金

# Webによる情報共有

The screenshot shows the homepage of the Japan Association of Nursing Academies (JANA). The header includes the JANA logo and name in Japanese and English, along with links for 'Home' and 'Site Map'. A left-hand menu lists various topics such as 'HOME', 'Nursing Volunteer Activities', 'For Mothers and Children', 'Mental Care', 'Disaster Area Information', 'Disaster Nursing Support Activities', 'Radiation Damage', 'Disaster Clinical Nursing', and 'Disaster Nursing Symposium'. The main content area features a green banner with the text '震災関連の支援情報' (Disaster-related support information). Below the banner, there is a section titled '最新の15件' (Latest 15 items) listing recent publications or reports with their dates and titles, such as '一般社団法人 日本看護系学会協議会の会員校の皆様へ (PDF形式 52.1 KB)' dated 2016年04月28日.

## 平成28年熊本地震に対する会員学会の活動調査

対象：44会員学会

方法：Webによる質問紙調査

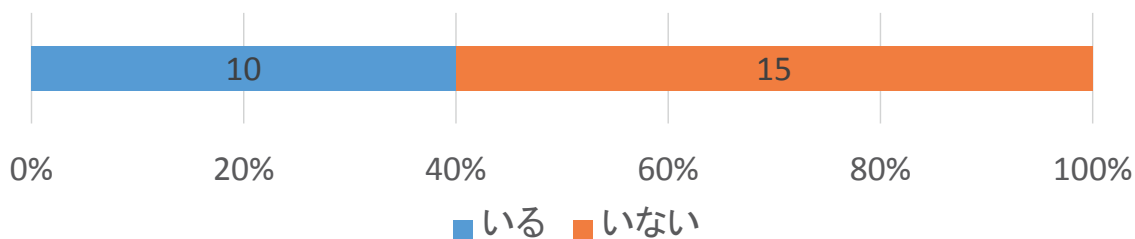
調査期間：平成28年7月4日～7月11日

内容：

- A. 各学会における災害関連の委員会等の実態について
- B. 各学会におけるH28年熊本地震に対する活動について

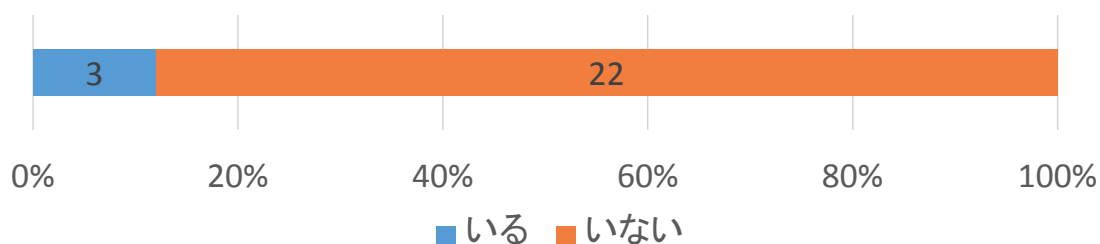
## 災害担当理事の有無

(N=25学会)



## 災害担当職員の有無

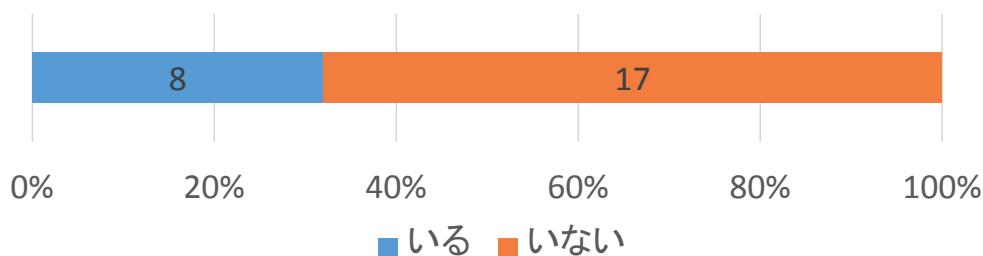
(N=25学会)



7

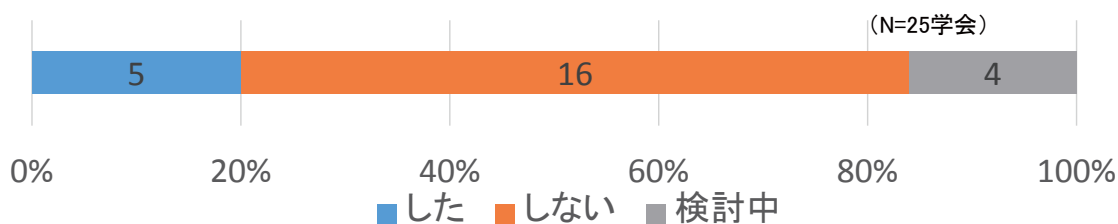
## 常設の災害関連委員会の有無

(N:25学会)



8

### 被災地への会員派遣の有無 (N=25学会)



### 被災地に会員を派遣した期間と人数 (N=25学会)

- ① 4月16日～4月24日 } 合計12日、延べ25名派遣  
6月20日～6月22日 }
- ② 4月18日～5月中旬 合計13日+アルファ、延べ10名派遣
- ③ 5月12日～5月16日 合計5日、延べ25名派遣
- ④ 5月29日～5月30日 合計2日、延べ人数1名派遣

全派遣期間: 4月16日～6月22日まで、 総計32日、延べ61名派遣

9

### 学会員を派遣した被災地の場所

- 熊本県阿蘇温泉病院他
- 熊本県内  
(熊本市、益城町、西原村、宇土市、御船町) 避難所
- 避難所・福祉避難所
- 熊本大学
- 熊本県看護協会
- 熊本日本赤十字病院
- グランメッセ熊本  
特別支援学校
- 役場・保健福祉センター
- 日本赤十字社熊本県支部

## 被災地で行った活動

### 1) 実態把握

避難所・医療機関・福祉施設における被災者の生活と健康状況と支援活動の実態把握/組織的な災害対応/被災者の生活と看護ニーズの把握

### 2) 透析施設における業務支援

日本災害時透析医療協働支援チームの先遣隊業務

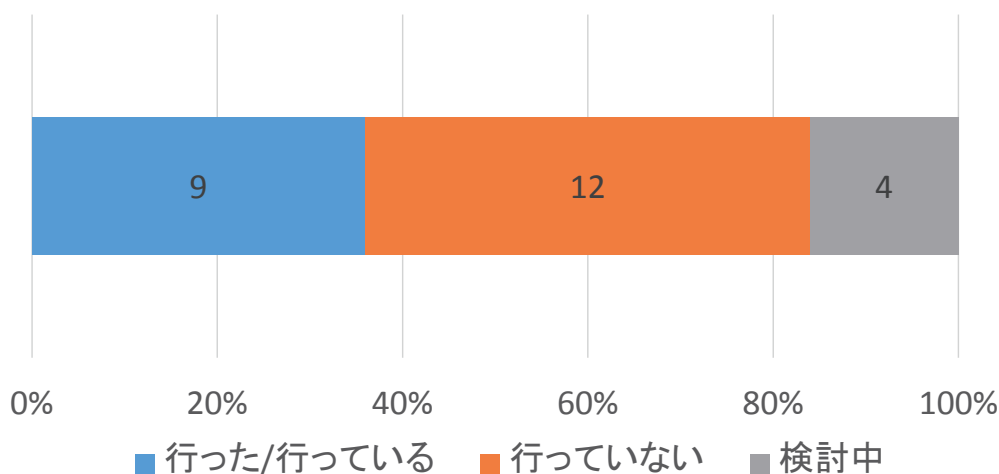
### 3) 学会が立ち上げた「情報提供サイト」のニーズと注意点等の把握調査

### 4) 情報提供

ボランティア活動から得た情報を、会員に対して提供。また糖尿病看護認定看護師に協力要請があり、所属学会の委員や学会員へも情報発信を実施。さらに必要時、学会理事へも情報提供を実施

11

## 知識提供を行ったか？ (N:25学会)



12

## 実施した知識提供内容

1. 被災された**妊産婦及び乳幼児等**に対する支援のポイント  
乳幼児栄養・母乳育児支援情報・災害時の子どもの関わり方等
2. **他者**に対する情報発信  
生活環境、支援体制、被災者の様子/健康状態、ケア提供者の様子、災害対策本部の情報  
避難所の記録方法について、被災地の支援要請の状況、ボランティア活動、支援物資供給  
募金活動
3. **高齢者**関連の情報提供  
避難所で高齢者を看護する人に対して高齢者の健康管理、認知症の方のケアについて  
高齢者等の口腔ケア、摂食嚥下サポート方法
4. **糖尿病患者の方々とケアをする人**への情報提供  
高血糖・低血糖への対処、避難生活の注意点  
災害時の糖尿病看護マニュアル(災害支援フロー)
5. **被災された方々**への情報提供  
日常生活の注意点、エコノミー症候群とその予防
6. **化学療法中の方々**への情報提供(特に避難所で生活されている方)
7. **人工肛門のある方**への情報発信  
皮膚・排泄ケアの相談先、皮膚・排泄ケアの災害対応ガイドブックの内容

13

## 実施した知識提供の方法

- 1) 学会のホームページを介して  
(例:①JANAから提供されたリーフレット等を学会HPに掲載  
②学会HPを通じてリンクHPアドレス、等)
- 2) 冊子、フェイスブックを介して
- 3) 直接持参や郵送で  
熊本、福岡地区の皮膚・排泄ケア認定看護師やDMAT等で現地入りした  
皮膚・排泄ケア認定看護師から避難所に伝達
- 4) 電子メール  
①学会のネットワーク  
②他学会とのネットワーク(情報メール・透析療法指導看護師の情報メール)

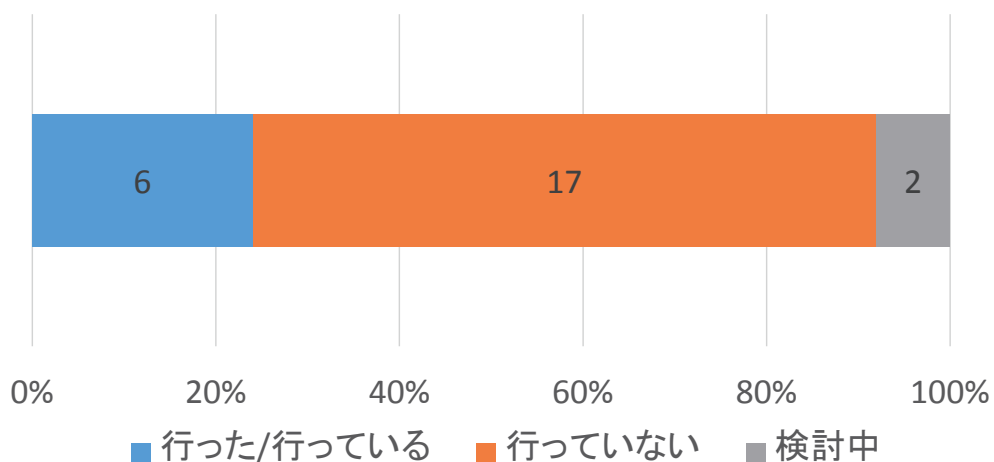
14

## 知識・情報等の提供先

- ①学会員や周囲の関係者、ホームページ・フェイスブックの閲覧者  
(4月18日時点でアクセス数が1万を超えた)
- ②熊本在住の学会理事
- ③教育機関(熊本大学)
- ④専門職能団体(熊本県看護協会)
- ⑤特定の専門家(透析療法指導看護師・JHAT関係者・被災した母子等を看護する看護職)
- ⑥一般の方々(被災した妊産褥婦、母子、被災された方々等)

15

## 募金活動実施の有無 (N:25学会)



16



## 募金の目的

- 熊本地方被災地の人々支援
- 会員向けの支援及び、  
会員関連の教育施設で看護  
を学んでいる学生に対して
- 熊本地震における義捐金
- 被災された会員および看護  
職による災害看護活動支援

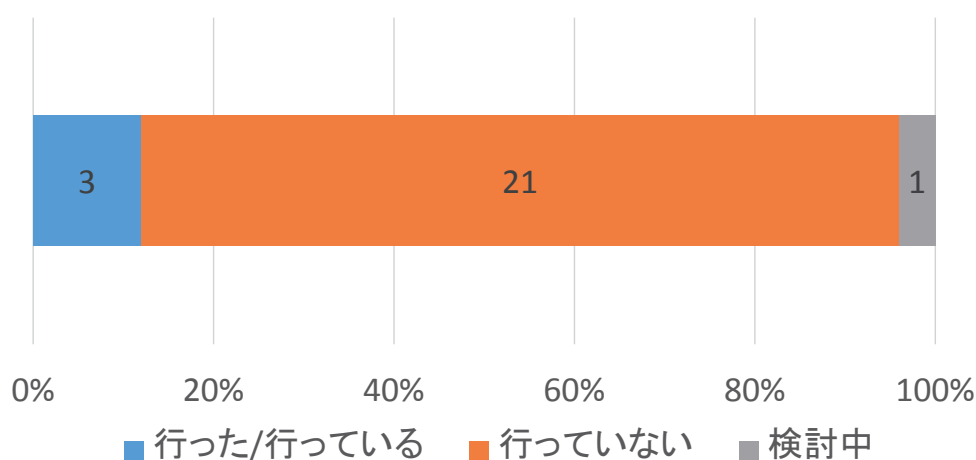
## 募金の期間

- 学術集会において(1日～2日)
- 2016年4月29日から終了日は  
決めていない
- 4月25日から6月中旬まで
- 特に決めていない
- 日本赤十字社の募金を紹介

17

## 必要物資の提供

(N:25学会)



18

## 提供時期

- 4月16日～4月24日
- 4月18日～5月中旬頃
- 概ね1週から2週間

## 提供物資

- JHATで把握しているが、当学会独自のものは未確認
- 果物、おむつ関係(6包)、生理用品(7包)、タオル20枚、お茶(1箱)、水(1箱)、お菓子、食料、栄養ドリンク
- 皮膚・排泄ケア領域の物品(スキンケア用品、ドレッシング材)

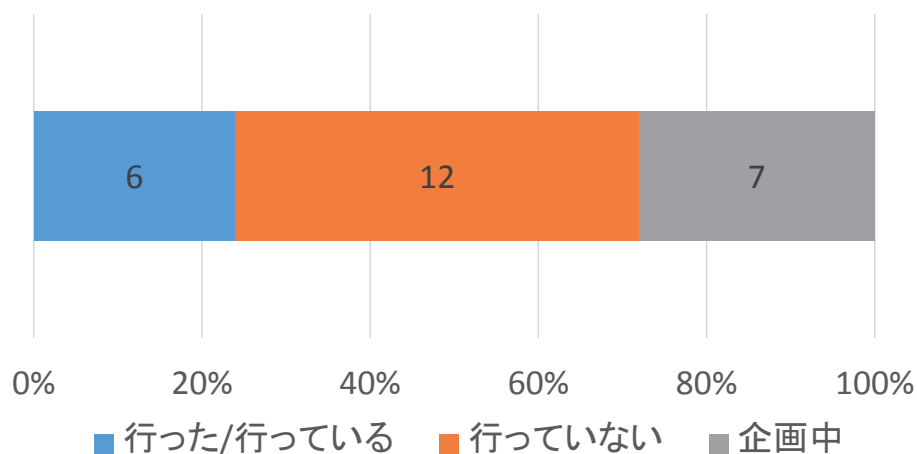
## 提供先

- 熊本県看護協会、熊本大学保健学科教員、熊本赤十字病院、保健所
- 皮膚・排泄ケア領域の物品等については、企業さんとの連携があるため、企業さんから届けて頂いた。
- 福岡県久留米市の聖マリア病院に集め、そこから熊本県内の透析施設へ送付(JHATとして活動)

19

## 年次大会におけるH28年熊本地震関連の企画

(N:25学会)



20

## 学会の年次大会で実施したもの

### 1. 学術集会で被災地の会員が報告

学会認定運動器看護師(JSMNC)が自主的に被災地において、近隣住民への骨折・外傷時ケアを実施し、深部静脈血栓症発症予防の教育等報告があり、運動器看護と災害の関連について、学会として検討することとなった

### 2. 特別セッションを実施

第25回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会で理事会企画として、熊本地震災害支援活動報告と今後の課題を報告した

### 3. 防災学術連携体で報告

平成28年熊本地震に対する学会としての活動を、5月2日防災学術連携体で報告した

21

## 現在、年次大会時に企画

1. 交流集会を開催することを検討中

2. 学会発表を予定中

①JHATの構成員としての活動・第61回日本透析医学会での発表

②熊本での助産師の活動報告を予定

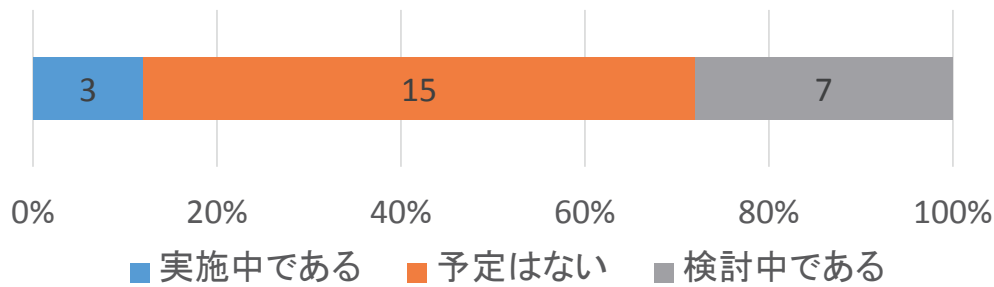
3. 報告会

第18回日本災害看護学会：「熊本地震緊急討論」企画

22

## 学会年会費の免除

(N:25学会)



## 学会年会費の免除期間

申請当該年度

1年分

2年分(熊本は来期分から実施予定)

23

## 今後の活動に関する提言

1. 活動に向けて、各学会組織を超えた委員会等の構築
2. 会員学会の災害関連活動状況把握システムの構築
2. 会員学会が有する災害関連の知の集約と構築
3. 次の災害発生時に使用可能なガイドライン/ケアパッケージ等の作成---一般の方々用/看護職用等
4. 共同研究計画の立案---データベースの構築(基礎情報)や看護ケア方略の開発等を含む

24